



実施報告書

名称	海のお仕事図鑑プロジェクト
主催	日本財団「海と日本プロジェクト」 海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会
協力	海と日本プロジェクトエリア事務局（44局） 海のお仕事体験受け入れ先（企業・団体）
実施期間	2018年4月～12月
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・海のお仕事体験プログラム開発・対象となる子どもの募集・お仕事体験当日の運営・取材～放送・公式HPによる実施内容の紹介

海のお仕事図鑑とは

世界地図を開いてみましょう。日本は四方を海に囲まれた島国です。日本人は太古の昔からこの海に出て魚貝を獲り、海を渡り交易をしてきました。海のお仕事というと船に乗るお仕事がまず思い浮かびますが、海沿いの地域には、海の恵みを生かし受け取るために様々なお仕事が生まれ、代々引き継がれてきました。海のない地域にも、海と繋がる色々な役割・お仕事があります。

【海のお仕事図鑑】は、皆さんが「海のお仕事」を体験する機会です。海の恩恵や課題などを学び、地元の海と職業に対する理解を深めてもらう学びの場です。また、皆さんの職業体験を通じて地元住民の方たちへも、海のお仕事に対する理解が広がり、地域の企業全体に海洋意識が高まることも目標にしています。全国各地で開催される、皆さんの職業体験を動画とレポートで紹介する「海のお仕事体験レポート」は、海にまつわる多彩なお仕事を解りやすくビジュアルで紹介するものです。

エリア	お仕事名	受け入れ先	実施日	参加人数
北海道	シーグラスを使った工芸品制作	ありすCafe	10/6 (土)	10名
青森県	気象予報士お仕事体験！海と天気結びつきを知ろう！	株式会社吉田産業	11/10 (土)	10名
岩手県	ラジオ体験	IBC岩手放送	7/23 (月)	2名
宮城県	笹かまぼこの製造販売	株式会社 武田の笹かまぼこ	10/8 (月・祝)	10名
秋田県	水族館飼育員のお仕事	男鹿水族館 G A O	1/7 (月)	11名
山形県	酒田港の安全点検	国土交通省酒田港湾事務所	10/14 (日)	12名
福島県	フラガール	スバリゾートハワイアンズ	10/14 (日)	10名
栃木県	温泉水を利用したトラフグの陸上養殖	株式会社夢創造	9/15 (土)	10名
埼玉県	魚市場のお仕事	埼玉県魚市場	10/20 (土)	10名
千葉県	鮮魚店 (仲卸、飲食店、スーパー事業)	タカマル鮮魚店	10/13 (土)	10名
東京都	海の学芸員のお仕事	船の科学館	3月実施予定	10名 (予定)
神奈川県	ヨットハーバーのお仕事	リビエラリゾート・シーボニアマリーナ (株式会社リビエラリゾート)	9/17 (月)	10名
新潟県	港湾工学のお仕事	国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	8/17(金)	15名
富山県	海の研究のお仕事	富山県農林水産総合技術センター水産研究所	8/27 (月)	9名
石川県	珠洲伝統の揚げ浜式製塩を体験しよう!!	珠洲市、NPO法人・能登すずなり (珠洲市観光協会)	8/20 (月)	10名
福井県	ダイビングインストラクターのお仕事	南越前ダイビングパーク	8/21 (火)	10名
山梨県	海の恵みをいただく！すし職人を体験	すし うまいもの処 伊津美	10/13 (土)	10名
長野県	新品種の開発と卵・稚魚の提供☑	長野県水産試験場	10/5 (金)	10名
岐阜県	所轄飼観覧船の片付け軽作業	岐阜市鶴飼遊覧船造船所	10/21 (日)	10名
静岡県	水産加工のお仕事	株式会社いちまる	7/22 (日)	10名
愛知県	海の恵みを講話で伝えるお仕事	願照寺	10月20日 (土)	10名
三重県	海を祀るお仕事 ~真珠からきれい和健康を作る~	御木本製菓株式会社	8/30 (木)	10名
滋賀県	環境保全意識を広げる商品開発と製造☑	株式会社コクヨ工業滋賀	9/17 (月・祝)	10名
京都府	海の水をきれいにするお仕事	京都市上下水道局 水質管理センター	8/23(木)	親子10組
大阪府	新素材でリンググズをつくるお仕事	山本化学工業	9/22 (土)	10名
兵庫県	客船の接客のお仕事	株式会社神戸クルーザー	10/13 (土)	10名+親10名
和歌山県	学芸員のお仕事 1日体験	和歌山県立自然博物館	10/13 (土)	10名
鳥取県	カニの飼育のお仕事	鳥取県立とっとり賀露かにっこ館	10/20 (土)	5名
島根県	シジミ漁のお仕事	宍道湖漁業協同組合	10/14 (日)	10名
岡山県	海のお掃除&黒島ビーチツアーのお仕事体験	ザ・ホテル リマニ & スパ牛窓	10月8日 (祝・月)	10名
広島県	カキ打ち	島田水産	10/13 (土)	10名
山口県	海で働く人を育てるお仕事	大島商船高等専門学校	8/7 (火)	10名
徳島県	造船所のお仕事【中止】	神例造船株式会社	9/15 (土)	中止 (0名)
香川県	史跡高松城跡 遊覧船ガイド	史跡高松城跡 玉藻公園	11/18 (日)	8名
愛媛県	調理師学校の先生のお仕事	学校法人河原学園	10/20 (土)	10名
高知県	海産物のバイヤーのお仕事		3月実施予定	10名 (予定)
福岡県	福岡の海を守る“ビーチクリーンロボット”	九州工業大学 われら海岸探偵団	10/14 (日)	10名
佐賀県	海苔の摘み取り体験	佐賀県有明海漁業協同組合	10/8 (月)	10名
長崎県	水産科の教師	長崎県立長崎鶴洋高等学校	8月30日 (木)	10名
熊本県	海中カメラマンのお仕事	熊本ダイビングサービスよかよか	9/15 (土)	10名
大分県	清掃艇で海のお掃除	公益財団法人別府湾をきれいにする会	8/17 (金)	10名
宮崎県	海のプロスポーツ選手	株式会社 イーストリバー NPO法人児湯高鍋ライフセービングスポーツクラブ	10/20 (土)	10名
鹿児島県	かつお節作りのお仕事	株式会社マルニフーズ	11/17 (土)	10名
沖縄県	海を案内するお仕事	しかたに自然ガイド	9/23 (日)	7名
			参加者計	449名

海のお仕事プログラムの開発にあたり、
事前に受け入れ先企業・団体とミーティングを行っていただいた。

※以下実施計画書添付

御中



実施計画書
7月4日

海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会

はじめに



1

このたびは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環事業である、「海のお仕事図鑑」におけるこどもたちの体験プロジェクトの受け入れをご快諾いただき誠にありがとうございます。

本事業へのご理解ご尽力を賜りましたことを暑く御礼申し上げます。

本事業を通じて、より多くのこどもたちが海への関心を持ち、海に関するお仕事に興味関心を抱いてもらえることを目的に事業を推進してまいりたく存じます。

このあとに、詳細をご説明させていただきます。

ぜひとも、皆様におかれましては本事業の主体者として、海と日本プロジェクトへの理解と本事業の主旨をご理解いただいた上、ご対応いただけますと幸いです。

海と日本プロジェクト実行委員会

海と日本プロジェクトとは



2

【日本財団「海と日本プロジェクト」とは】

日本財団「海と日本プロジェクト」とは、2015年に「海の日」20回目を記念し、日本財団の主導で推進しているプロジェクトです。次世代を担う子どもたちを中心として多くの方々に「海の日」の意義について認識を深めてもらうとともに、海への好奇心を持ってもらい、行動を起こすムーブメントを作り出すことを目指しています。

子供向け:【日本財団「海と日本プロジェクト」とは】

海と日本(にっぽん)プロジェクトってみんなしてるかな。
みんなの周りには海があって遊んだり、海のお魚を食べたり海はみんなの生活を支えているの。
でも、人間のせいで海が汚れたり、お魚が減ったりして海に元気がなくなってるの。
みんなに海が困ってることを知ってもらって、みんなで海を助けて、元気な海を未来に残そうとすることが、日本(にっぽん)財団がやっているプロジェクトだよ。

プロジェクト概要



3

プロジェクト概要

全国44カ所の海と日本プロジェクト実行委員会のあるエリアにおいて「1エリア1仕事」で小学生を対象に海に関するお仕事体験を行ってもらう。

その体験イベントの企画・募集・実施を行い、更にその様子を取材した動画を制作・放送・納品。

またイベントレポートを提出し、その内容を、「海のお仕事図鑑」としてweb上で展開する。

狙い

海のお仕事体験を通じて、子どもたちに、地元の海の恩恵や課題などを学んでもらい、地元の海への理解を深めてもらう(地元の職業を知ってもらう)。

受け入れ企業がプログラムの実施により、以後、自発的に子どもたちを受け入れる機運をつくり、地域の海洋体験学習の受け入れ先の増加などに繋がることを期待する。

プログラム開発ミーティングの実施



4

受け入れ先団体様と各エリア事務局で、プログラム開発ミーティングを行い、以下のPOINTに留意して体験プログラムの開発を行ってください。

POINT.1

お仕事見学ではなく
お仕事「体験」

海に関連した仕事をしている様子を見学するのではなく、参加する子どもたちがきちんと体験できるプログラムになっていること。

POINT.2

お仕事の背景にある
「海への学び」を学習

体験する産業がいつからどんな経緯でといった文化軸、地域の海の生態などの自然形態軸、地域の海の課題などの海の危機軸など、海への豊かな学びが感じ取れる内容であること。

POINT.3

「海と日本のプロジェクト」への
認知獲得

「海と日本のプロジェクト」のことを参加する子どもたちに説明。「海と日本のプロジェクト」の認知獲得につながる施策があること。



実施概要



5

実施日時

2018年7月中旬～10月

参加人数

小学校高学年(4～6年生)10名程度
各エリア事務局にて募集



実施場所

各エリアの海の仕事場

実施内容(案)

入社式・お仕事説明会／お仕事体験／振り返り
修了式・記念写真撮影

体験当日スケジュール



6

30分程度	SCENE.1 入社式・お仕事説明会
2時間程度	SCENE.2 お仕事体験
30分程度	SCENE.3 振り返り
10分程度	SCENE.4 修了式・記念撮影



SCENE.1「入社式・お仕事説明会」詳細



7

30分程度	SCENE.1 入社式・お仕事説明会
1時間程度	SCENE.2 お仕事体験
1時間程度	SCENE.3 お楽しみ会・振り返り
1時間程度	SCENE.4 振り返り・お礼状



●参加する子どもたちを迎えた後、受け入れ先団体の入社式・お仕事説明会を実施。

- | | |
|---------------------|--|
| ①事前アンケート | → 参加する子どもたちに事前アンケートに記入してもらう。 |
| ②受け入れ先代表挨拶 | → 受け入れ先代表者による子どもたちへの挨拶。 |
| ③参加する子どもたち自己紹介 | → 参加する子どもたちが一人一人自己紹介。 |
| ④お仕事内容説明／海への学びレクチャー | → 受け入れ先担当者より、仕事内容の説明や諸注意。
→ 仕事内容に関連した海への学びをレクチャー。
→ 海と日本プロジェクトについての説明。 |

●30分程度の実施時間を想定。

【留意点】

- 実施場所の確認
→ 例:受け入れ先の会議室など
- 受け入れ先の作業着規定の確認
→ 例:自由でいいのか?ジャージなどの動きやすい服装?制服貸与の有無など。
- 受け入れ時間の確認
→ 全体で3時間程度の実施を想定しているが、朝から実施するのか?昼過ぎから実施するのか?
→ 受け入れ時間によっては昼食の用意をする必要あり。
- 受け入れ先の仕事の背景にある「海への学び」のレクチャー
→ お仕事内容説明時に参加する子どもたちに説明。

SCENE.2「お仕事体験」詳細



8

30分程度	SCENE.1 入社式・お仕事説明会
2時間程度	SCENE.2 お仕事体験
1時間程度	SCENE.3 お楽しみ会・振り返り
1時間程度	SCENE.4 振り返り・お礼状

●受け入れ先担当者の指導により、子どもたちがお仕事を体験。

●2時間程度の実施時間を想定。



【留意点】

- 子どもたちが実際に行う作業内容の安全性の確認
→ 例:包丁などの刃物使用有無/釣り針などの鋭利な物の使用有無/海上での作業有無
- 受け入れ先担当者・引率者の人数の確認
→ 子どもたち10名の参加に対して、受け入れ先担当者・引率者は何名体勢か?
- 作業時間の確認
→ 2時間程度の実施に対して、受け入れ先の想定時間はどの程度か?

SCENE.3「振り返り」詳細



9

10分 程度	SCENE.1 入社式・お仕事説明会
10分 程度	SCENE.2 お仕事体験
30分 程度	SCENE.3 振り返り
10分 程度	SCENE.4 修了式・記念撮影

●お仕事体験を終えて、参加した子どもたちがその内容を振り返り、感想などを発表。

- ①受け入れ先担当者からの総評 → 受け入れ先担当者が、子どもたちの働きぶりなどの感想を発表。
 ②子どもたちの感想発表 → 参加した子どもたち一人一人が仕事の感想を発表。
 ③受け入れ先代表からの挨拶 → 受け入れ先代表より締めの挨拶。

●30分程度の実施時間を想定。

【留意点】

- 実施場所の確認
 → 例：受け入れ先の会議室など



SCENE.4「修了式・記念撮影」詳細



10

10分 程度	SCENE.1 入社式・お仕事説明会
10分 程度	SCENE.2 お仕事体験
10分 程度	SCENE.3 振り返り
10分 程度	SCENE.4 修了式・記念撮影

●「振り返り」から引き続き修了式を実施。

- ①修了証の授与 → 受け入れ先代表より、子どもたちに修了証を授与。
 ②記念写真撮影 → 受け入れ先代表・担当者と子どもたちの記念写真撮影。
 ③事後アンケート → 参加した子どもたちに事後アンケートに記入してもらう。

- ※成果物の贈呈 → 作業内容によっては、子どもたちに成果物を贈呈。

●10分程度の実施時間を想定。

【留意点】

- 修了証の作成
 → 名刺サイズの修了証カードを実行委員会が作成～各エリア事務局に送付。
 ■記念写真撮影時の横断幕掲出
 → 海と日本プロジェクト横断幕を、記念写真撮影時に掲出。



WEB展開



11

WEB TOPデザイン（仮）



TOPではインパクトのあるイラストを背景に制作します。

お仕事一覧をイラストで分かりやすく一覧表示する。

キャラクターのイラストでお仕事への興味を喚起します。

「もっと見る」ボタンで追加情報もさらに下に展開する。

海と日本プロジェクトへのリンクを添付

※具体的なデザインは別途参照

お仕事詳細ページデザイン（仮）



お仕事の魅力もイラストでアピール

体験プロフィールへのページ内リンク

お仕事プロフィールとしてお仕事の特徴はヒックアップして紹介し、真実は仮の状態

その他のお仕事詳細ページへのリンク

子供たちの体験レポートをお仕事の設問に沿って下部に集める。

その他のお仕事詳細体験レポートリンク

●本事業のWEBサイトを制作いたします。

STEP1

各エリアの海のお仕事体験内容が確定しましたら

その紹介をするページに情報を流し込みます。

- ・お仕事をキャッチーなイラストで分かりやすく表現
- ・お仕事内容の紹介
- ・お仕事の特徴を表すマトリクスの表示
- ・実際にそのお仕事に従事する方の1日のスケジュールを紹介

STEP2

・体験終了後、当日の様子を取材した動画を配信

・体験時の様子が分かる写真とコメントを掲載

事前の受け入れ先とのミーティングを受け、以下の書類を提出いただき、プロジェクト事務局にて実施の進捗管理を行った。



エリア事務局
業務推進オペレーション・提出書類

■提出書類提出先■
海コンテンツ事務局
白藤宛て
umi-contents@green-media.org
問合せ：03-5350-3020

お仕事体験内容の決定



■体験仕事内容のつめ

資料：海のお仕事図鑑実施計画書受け入れ先用
に基づき、受け入れ先と子どもたちに体験してもらうお仕事内容について詰めていた
だけますようお願いいたします。

■運営体制

当日子どもたちを受け入れるのに

- ・受付
- ・誘導
- ・配布物
- ・昼食有無一手配
- ・貸与物の確認

等も役割分担含め、受け入れ先と打合せをお願いいたします。

■マトリクスと1日のスケジュールのヒヤリング

海のお仕事図鑑WEBサイトにてお仕事をより分かり易く紹介するために、
体力・知力・技術力・忍耐力・協調性の5つの視点で仕事を分析し、合計10点になる
よう点数配分をしてください。

また、お仕事に従事されている方の1日のスケジュールをヒヤリングしてください。

提出書類① お仕事内容詳細 ※事前にご提出をお願いします

受け入れ先企業・団体名

実施日

実施時間

:

-

:

お仕事名

実施場所

体験内容

こども参加人数

海のお仕事マトリクス
(WEBに図形化し掲載)

※以下の内容それぞれについて、合計10点になるよう点数配分をしてください。

体 力： 点
知 力： 点
技術力： 点
忍耐力： 点
協調性： 点

お仕事に従事されている方の1日のスケジュール
(WEBに掲載)

<例> 牡蠣漁師

3:00 起床
3:30 牡蠣の殻むき作業開始
7:00 朝食
7:30 再び牡蠣の殻むき作業
12:00 昼食
14:00 選別・洗浄・箱詰め作業
15:00 出港 牡蠣の養殖場へ
16:00 帰港
引き揚げた牡蠣をトラックへ積み込み
16:30 作業場へ到着
17:00 出荷 漁業協同組合にて
19:00 帰宅～夕食
21:00 就寝

受け入れ先企業・団体名	すし うまいもの処 伊津美
-------------	---------------

実施日	10月13日(土)	実施時間	14:00~17:00
-----	-----------	------	-------------

お仕事名	海の恵みをいただく！すし職人を体験
------	-------------------

実施場所	山梨県甲府市飯田4-1-4
------	---------------

体験内容

山梨県は“海なし県”なのに人口に対する「すし店の数」と1人当たりの「マグロの消費量」が全国トップクラスです。すし好き・マグロ好きの背景には“海への憧れ”があったと言われています。人気のすし店を会場に子どもたち熱愛のマグロ握りを体験します。体験前には「マグロの流通」「握り方のポイント」をすし職人が分かりやすく説明し学びを深めます。体験後には自家製のマグロ握りを試食し、海の恵みをいただき感謝します。

こども参加人数	10人
---------	-----

海のお仕事マトリクス (WEBに図形化し掲載)

※以下の内容それぞれについて、合計10点になるよう点数配分をしてください。

体力:	1点
知力:	2点
技術力:	4点
忍耐力:	2点
協調性:	1点

お仕事に従事されている方の1日のスケジュール (WEBに掲載)

<すし職人>

6:00	起床
6:30	市場へ仕入れ
9:30	仕込み作業
11:00	営業開始(昼の部)
14:00	営業終了(昼の部)
14:30	休憩
17:00	営業開始(夜の部)
21:00	営業終了(夜の部)
21:30	片付け
23:30	就寝

<例> 牡蠣漁師

3:00	起床
3:30	牡蠣の殻むき作業開始
7:00	朝食
7:30	再び牡蠣の殻むき作業
12:00	昼食
14:00	選別・洗浄・箱詰め作業
15:00	出港 牡蠣の養殖場へ
16:00	帰港
	引き揚げた牡蠣をトラックへ積み込み
16:30	作業場へ到着
17:00	出荷 漁業協同組合にて
19:00	帰宅～夕食
21:00	就寝

受け入れ先企業・団体名	京都市上下水道局 水質管理センター		
実施日	8月23日(木)	実施時間	9:30 ~ 11:30
お仕事名	海の水をきれいにするお仕事		
実施場所	京都市上下水道局 鳥羽水環境保全センター内 水質管理センター		
体験内容	<p>私たちが普段の生活で使用して汚れた「水」水質管理センターできれいな「水」に戻され、河川からやがて海へと流れていきます。海から遠い京都市でも海をきれいにするためのお仕事があることを知り、どのようにきれいな水に戻しているのかを学び、海とのつながりを考えてもらいます。</p>		

子ども参加人数	親子ペア 10組 予定
---------	-------------

海のお仕事マトリクス (WEBに図形化し掲載)	※以下の内容それぞれについて、合計10点になるよう点数配分をしてください。	
	体力:	2点
	知力:	2点
	技術力:	3点
	忍耐力:	1点
	協調性:	2点

お仕事に従事されている方の1日のスケジュール (WEBに掲載)

8:30	始業, ミーティング
9:00	自動採水器セット及び試料の採取
9:30	水質試験
12:00	昼食
13:00	水質試験
14:00	現場巡視
15:00	データ整理
16:00	水環境保全センターとの打合せ
17:15	終業

<例> 牡蠣漁師

3:00	起床
3:30	牡蠣の殻むき作業開始
7:00	朝食
7:30	再び牡蠣の殻むき作業
12:00	昼食
14:00	選別・洗浄・箱詰め作業
15:00	出港 牡蠣の養殖場へ
16:00	帰港
	引き揚げた牡蠣をトラックへ積み込み
16:30	作業場へ到着
17:00	出荷 漁業協同組合にて
19:00	帰宅～夕食
21:00	就寝

事前の受け入れ先とのミーティングを受け、以下の書類を提出いただき、プロジェクト事務局にて実施の進捗管理を行った。



エリア事務局
業務推進オペレーション・提出書類

■提出書類提出先■
海コンテンツ事務局
白藤宛て
umi-contents@green-media.org
問合せ：03-5350-3020

募集



■募集要項の策定

募集方法は、各エリアの有するWEBサイトを活用、直接のお声掛け等、手法はお任せいたします。

募集要項と応募の際に必要な事項を記載するフォーマットの作成を推奨します。

<募集要項・応募フォーム項目例>

募集要項記載事項

- ・参加費（無料）
- ・対象（小学生4～6年生）
- ・定員（10名）
- ・開催日
- ・開催時間
- ・集合時間・場所
- ・開催場所・住所
- ・駐車場有無
- ・体験する仕事の詳細
- ・当日、現地までの交通費等の負担有無
- ・開催時間によっては昼食用意の有無
- ・当日取材がある旨の通達および、取材した動画や写真のWEB掲載露出の許諾
- ・主催/協力
- ・問合せ先

応募フォーム記載事項

- ・おこさま氏名（ふりがな）
- ・おこさま年齢
- ・おこさま性別
- ・保護者氏名（ふりがな）
- ・保護者連絡先および緊急連絡先
- ・住所
- ・保護者性別
- ・保護者メールアドレス
- ・当日保護者同伴の有無
- ・取材した動画や写真のWEB掲載の許諾 可・不可

納品について



■取材をお願いします

<動画>

- ・90秒以上のものを制作願います
- ・取材内容は、御局の番組で放送してください。（海応援動画のカウント可）
- ・BOXに納品フォルダを作成しておきますので、そちらへのアップもお願いします。
※本事業事務局例にて海のお仕事図鑑WEBサイトに掲載いたします。

<写真>

- ・次頁の提出書類にて、6枚以上～10枚程度を納品してください。
- ・各写真のキャプションとなる簡単な説明文を作成してください。
※本事業事務局例にて海のお仕事図鑑WEBサイトに掲載いたします。
- ・写真データの名称にシーンが分かる名前をつけてください。
例：体験シーン①、開会式様子、集合写真 等

<注意>

動画・写真ともに、「海のお仕事図鑑」webサイトおよび海プロ公式Youtubeにて公開されることを事前に承諾を得てください。
また、露出NGの方がいらっしゃった場合には、その方が映っていないモノを納品してください。

■ダイジェスト版動画制作予定

9月までに納品された動画については、本事業事務局例でダイジェスト版動画を作成し、海プロ公式サイトに掲載する予定です。あらかじめご了承ください。

■レポート作成のお願い

- ①お仕事体験全体を通じてのレポート
- ②子どもたちに伝えたこと（このお仕事を通じて何が伝わったか）
- ③子どもたちの感想レポート
子どもたちにヒヤリングをして代表的な感想コメントを3～5まとめて文書化してください。
- ④受け入れ先感想レポート
受け入れ先の方々に今回の事業を通じて、子どもたちが体験してくれたことを通じて、思ったことをヒヤリングして、感想コメントを3～5まとめて文書化してください。

※以下は、昨年実施されたシージュブキッズのホームページです。
参考にご覧ください。

http://www.knb.ne.jp/sjk_movie/

■報告書作成のお願い

海プロ運営総合事務局が策定している規定フォーマットの報告書の作成をお願い致します。

納品について



■事前事後アンケート回収のお願い

事前事後アンケート大人用・子ども用 の回収をお願い致します。

<大人用>

- ・受け入れ先の本事業に携わってくださった方を対象
- ・同伴された保護者の方を対象

<子ども用>

- ・参加者全員

※他事業と同様の手順で納品をお願いします。

提出書類② 写真 ※実施後2週間以内にご提出ください

当日の記録写真を6～10枚添付してください。
それぞれの写真の説明キャプション（20文字以上30文字以下）を作成願います。

提出書類③ レポート ※実施後2週間以内にご提出ください**おしごとレポート ※どんなことをしたか全体を通じてのレポート****こどもたちに伝えたこと ※この仕事を通じてこどもたちに伝えたこと****こどもたちの感想レポート****受け入れ先の感想レポート**



KBS京都社屋前にて出発式。台風が接近して天気が心配されましたが、1組が体調不良で欠席のみの9組で元気に出発です。



京都市上下水道局水質管理課 勢川課長による入社式。水質管理の重要性、海の環境保全にもつながる仕事だと熱く説明されました。



流入した水は活性汚泥と呼ばれる微生物によって分解され、きれいな水に分離して上澄の水のみ河川に放流している流れをサンプルを見せながら説明



液体のpH検査。実際の仕事で使用している機器で、指定したpH濃度に調整する仕事を体験。



顕微鏡を使って活性汚泥の中の微生物を探すお仕事。一口に微生物といっても多くの微生物の種類があり、それぞれ違う働きをしていることを学ぶ。



浮遊物質(SS)の測定検査。流入水と放流水の汚れの違いを観察。



水に含まれるりんの測定。ビーカーとスポイトで検査用試薬を使って本格的な検査を体験。



イベント終了後記念写真。上下水道局スタッフ10名による分厚い指導にて水質管理の重要性が良くわかりました。

おしごとレポート ※どんなことをしたか全体を通じてのレポート

上下水道局水環境保全センターの役割の説明。水質ろ過の流れ説明。
水質測定、浮遊物質（SS）測定、リンの測定、COD（パックテスト）測定、アルカリ度の測定。顕微鏡による活性汚泥中の微生物観察。

こどもたちに伝えたこと ※この仕事を通じてこどもたちに伝えたこと

海から遠く離れた京都市にも海の環境保全にかかわる仕事があること。
普段何気なく流している生活排水も、それをきれいな水に戻して、自然に戻している仕事があること。社会は様々な仕事があり、それぞれの仕事に役割と責任があること。

こどもたちの感想レポート

きたなくなった汚れを食べる微生物がたくさんいることに驚きました。食べ残しなどを流さないことで、もっと放流水をきれいにすることができると思いました。サバイバル生活に役立つと思った。色々な実験をして、工夫してくれているんだと思った。水環境保全センターで水をきれいにしていることがわかった。

受け入れ先の感想レポート

参加してくれた子供たちが真剣に局員の説明を聞き、積極的に実験に参加してくれました。台風が接近する中で当初計画していた水環境保全センターの巡視と採水はできませんでしたが、子供たちが集中して作業にあたってくれたのであつという間に予定していた2時間が経過しました。子供達が今回の体験で、上下水道局の役割や化学、環境などに興味をもってくれたらと思います。貴重な機会をいただきありがとうございました。

当日の記録写真を6～10枚添付してください。
 それぞれの写真の説明キャプション（20文字以上30文字以下）を作成願います。



入社式にて当日の体験内容や注意事項の説明を行った。



船に乗り込み、酒田港の仕組みや堤防の役割等の説明を行った。



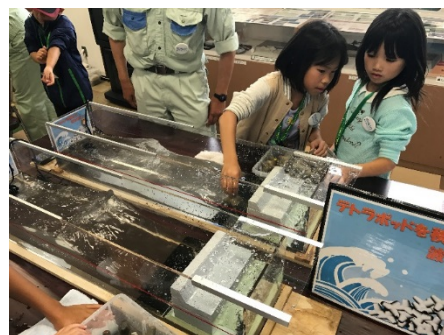
デッキへ上がり浚渫船の作業や港で行われている仕事を見学。



海上から見学した航路や作業船展望台から再度見学・確認。



ワークショップにて石膏でミニ波消しブロック作りを体験。



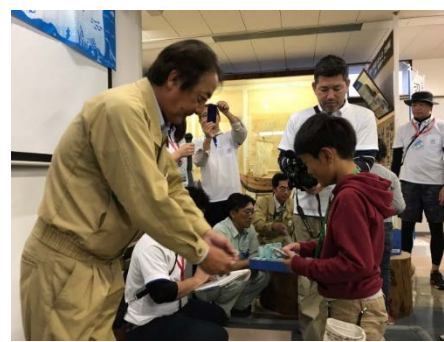
波の出る水槽に波消しブロックを思い思いに積んで効果を体験。



作業現場で活躍しているドローンの操作を疑似体験。



高所やコンテナの積み込みなどの作業をVRで疑似体験。



最後は体験をがんばってくれた子たちへ認定証を授与。



自分だけのオリジナル波消しブロックも固まりお土産に。

おしごとレポート ※どんなことをしたか全体を通じてのレポート

①入社式

海洋センターにて当日の体験内容や注意事項を説明

②海上より酒田港での作業を見学

本港地区係留場より乗船し、堤防の役割や酒田港の仕組みを説明。その後デッキへと上がり、浚渫船や海外のコンテナ船の作業風景を見学。

③酒田港全体を見学

下船後移動し、海上から見学した酒田港を北港緑地展望台から見学。

④ワークショップ～認定証授与～終了式

海洋センターに戻り下記の体験を実施

- ・波消しブロック作成

石膏でミニオリジナル波消しブロックを作成

- ・波消しブロックの効果体験

波の出る水槽に波消しブロックを設置し、堤防を越える波を消す体験

- ・ドローン疑似体験

港の作業現場で活躍しているドローンの操作をモニターにて疑似体験

- ・VR作業体験

実際の作業現場での作業風景をVRで体験

こどもたちに伝えたこと ※この仕事を通じてこどもたちに伝えたこと

こどもたちに身近にある海、その港にいろいろな仕事や役割があることを見学や体験を通して知ってもらう。

- ・海上より酒田港での作業を見学、展望台から酒田港を見学

海底に溜まった土砂を取り除くことで船が安全に航行できることや、コンテナ船やコンテナを積み込む作業を見学して、海外に向けてたくさんの荷物が酒田港から運び出されていること。

- ・ワークショップ

波消しブロックの効果体験では実際にブロックを積み上げることで波が消されること、またはブロックがないと港がきけんであることを知ってもらった。ドローン疑似体験では現在の作業現場で、高度な技術や機器を使って作業がより安全かつ正確に行われていることを学んでもらった。VR作業体験では普段入れない場所での作業を体験してもらい、酒田港にはいろいろな場所で作業が行われていることを知ってもらった。

こどもたちの感想レポート

船に乗ることが初めての子や緊張している子もいたが、実際に乗船した後はデッキに上がることもでき「気持ちいい!」「楽しい!」との声が上がりました。スタッフの説明にも興味を示し質問も出始め、浚渫船が海底の砂や泥をくみ上げる様子や港湾設備の大きさ、高さなどに大変驚いている様子でした。またそのような作業を行わないと船が安全に通れなくなることも実際見学することによって大切さを実感していたようです。

ミニ波消しブロック作りでは苦労する場面もありましたが、スタッフとのコミュニケーションも積極的にとれ無事作り上げることができました。また波消しブロック効果体験、ドローン疑似体験、VR体験では、効果に「すごい!」「やった!」との声や「もう一回!」ととても興味を示してくれました。

【アンケートより】

- ・船に乗ることがおもしろかった。VRが楽しかった。
- ・海の砂などをとるグラブ船などのことを知れてよかった。
- ・海に行った時、テトラポットがどのように積み重なっているか見てみたい。
- ・海はとてもきれいだと感じた。

受け入れ先の感想レポート

港の安全を守るためにいろいろな作業や仕事があることを体験してもらうことができよかった。「浚渫」という言葉は聞き慣れないとは思いますが、実際に見ることができてよかった。(必ずしも浚渫作業をしているとは限らないので見学できてとてもよかった)各体験もとても興味を示してくれて、今後も港や港の役割や仕事に興味を持ってくれると嬉しい。

<プロジェクトロゴ>



<お仕事体験修了証>



お仕事体験をされた子どもたちに修了証としてカードを配布

<Webサイト>

<http://oshigoto.uminohi.jp/>

